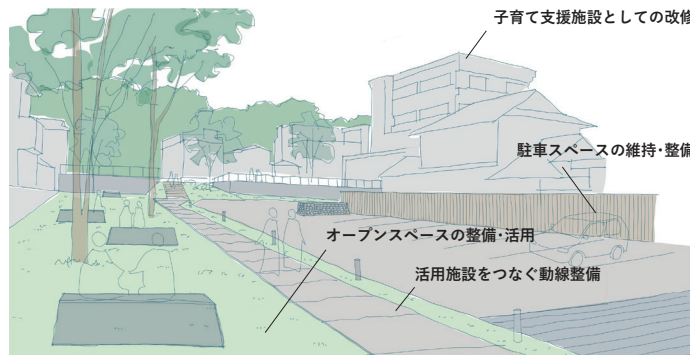
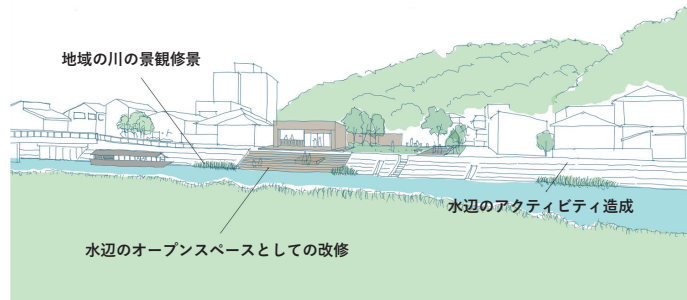


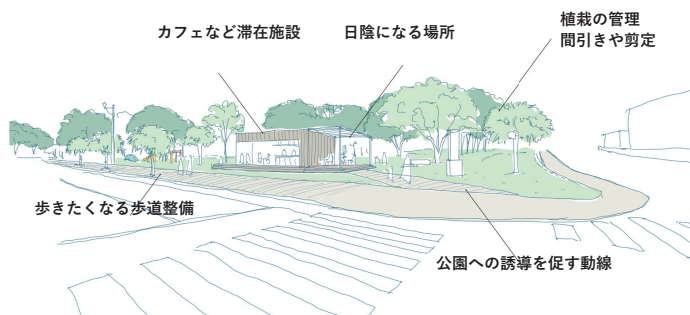
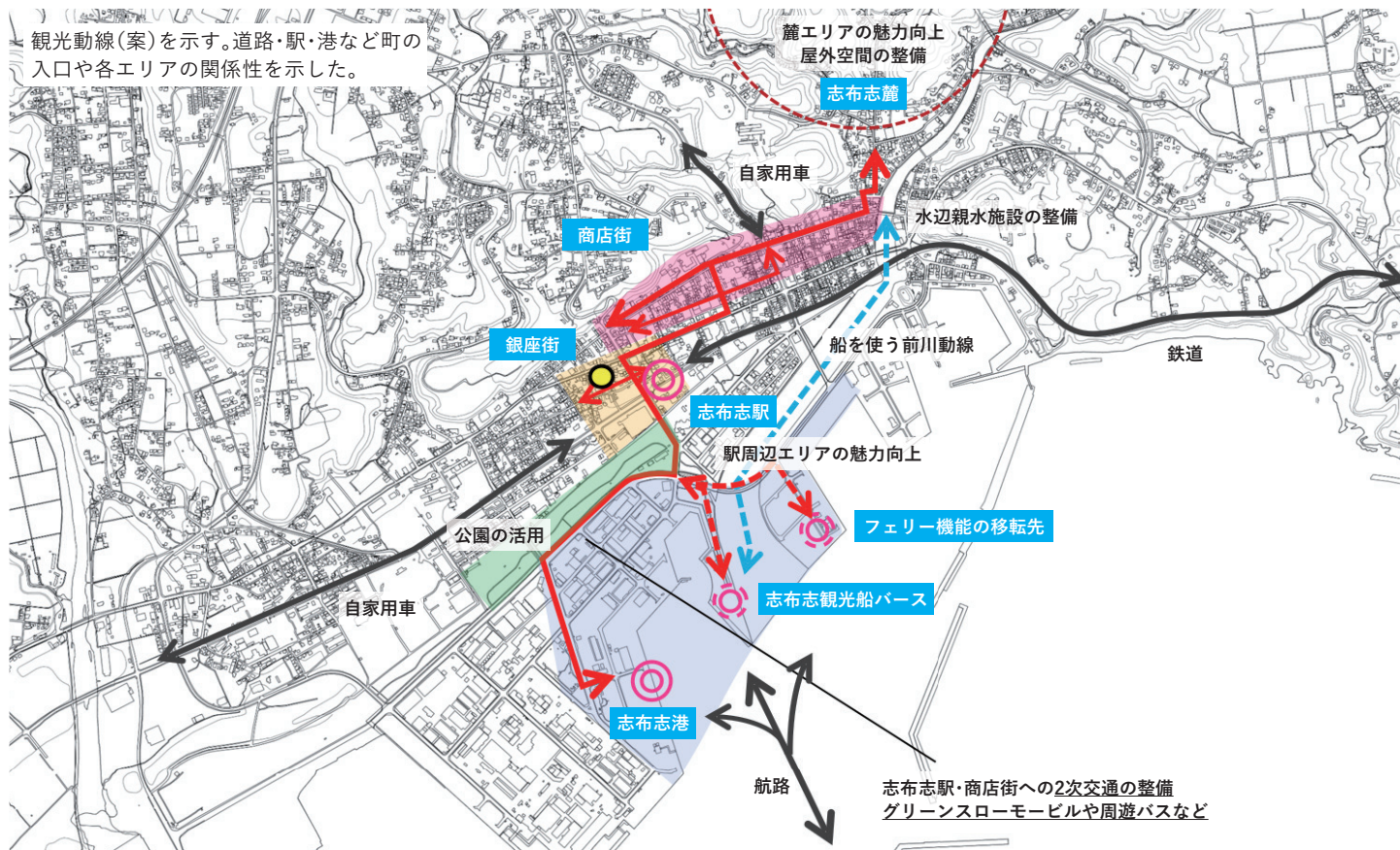


子育て支援施設となる旧ヒバリビルのオープンスペース改修活用イメージ
活用が期待される市の指定文化財「山中氏邸」の目前に広がる駐車場スペースの活用案を示す。市役所周辺で不足している駐車場としての機能は残し、山中氏邸と旧ヒバリビルの利用者が行き来しながら休憩もできるような活用が検討できる。



前川沿いの景観整備・水辺空間活用イメージ
現在空き家となり景観を阻害している危険家屋・廃墟を撤去し、かつて志布志の経済発展に欠かせなかった前川を近くに触れられるオープンスペースへ改修する。麓と商店街をつなぐ滞在拠点の整備や前川でのアクティビティの造成も検討できる。

03 港町・志布志としての観光動線整備 玄関口・志布志港から商店街・麓までの観光動線の整備



04 交通手段の整備

志布志港から志布志商店街、志布志麓までの交通手段は現状限られている。そこで商店街や志布志麓の幅員の狭い道路も走ることができるコンパクトなグリーンスローモビリティの活用が期待できる。

大浜緑地(都市公園)や駅前空間の景観整備イメージ
志布志麓から志布志商店街、志布志港までの動線には東西に伸びる都市公園「大浜緑地」。今後、志布志麓や商店街から志布志港までの道のりを繋ぐ滞在拠点としての整備やさらなる活用も期待できる。音楽イベントの開催やマルシェの出店も検討できる。

04 今後の展望

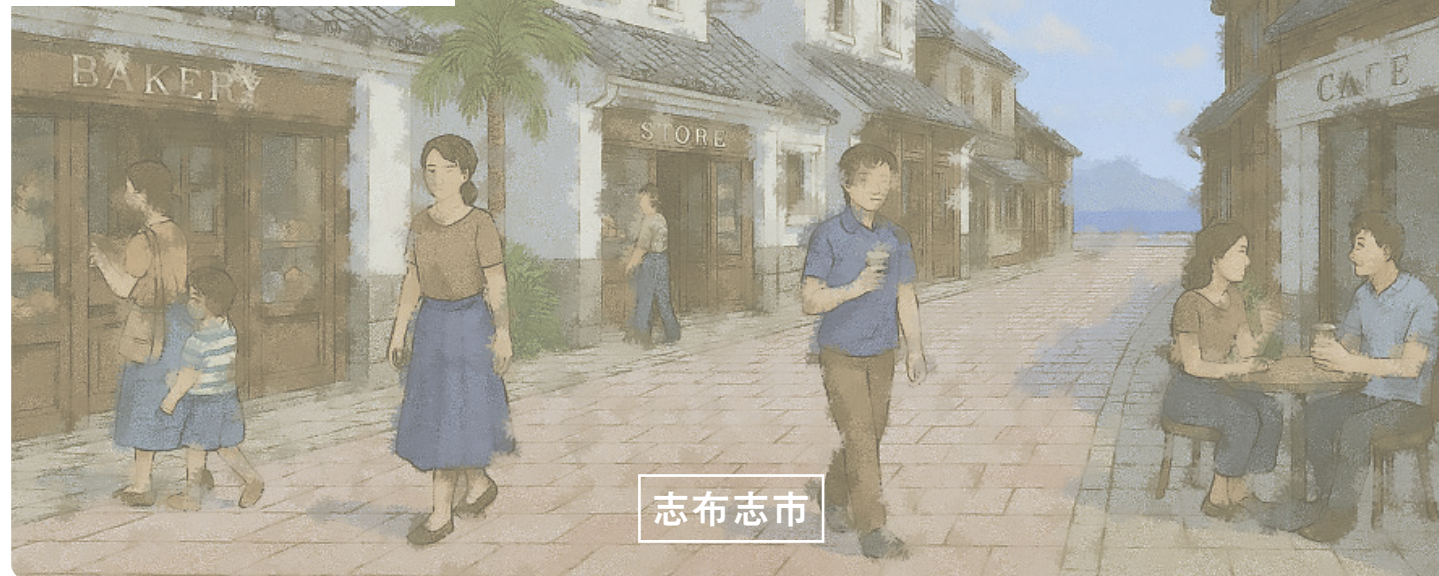
地域住民・店主等の事業者・来訪者・関係機関が協力し、歩いて楽しい志布志の魅力を育てていくことが求められる。景観整備やイベント等を通じて志布志のブランド力を高め、持続可能な観光と交流の拠点となることを目指す。

志布志商店街エリア構想

概要版

海風と歴史にふれる、歩いて楽しい港町

海がつないだ歴史あるまち、志布志。
港で栄えた東部地区の回遊性を高め、歩くたびに出会いと発見があるまちへ



歴史と自然が調和する志布志の景観を活かし、散策が楽しいまちづくりを。
「歩く」ことが楽しみになるような取り組みを通して、観光と地域経済の活性化を目指す。

01 景観デザインの方針と具体的な取り組み

<方針に基づいた具体的な施策の実施>

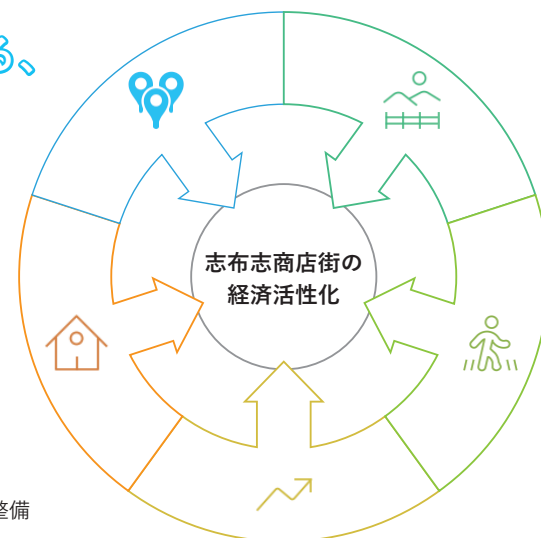
海風と歴史にふれる、歩いて楽しい港町

観光戦略

- ・観光PRの強化
- ・観光ルートとのセット販売
- ・歴史・港・麓文化を活かしたテーマ型観光の開発

滞在拠点の整備

- ・新志布志港を滞在拠点化
- ・古民家を活用した分散型宿泊施設の整備
- ・空き家改修での滞在拠点整備



景観整備

- ・空き店舗や空き地の利活用
- ・歴史的景観の維持
- ・照明計画の策定・導入(景観配慮)
- ・景観ガイドラインの策定
- ・外観改修支援
- ・空き地緑化・オープンスペース活用

回遊性の向上

- ・歩行者優先空間の整備
- ・速度抑制舗装の導入
- ・駐車場案内サインの設置
- ・2次交通導入(グリーンスローモビリティ・電動自転車など)
- ・志布志港～駅～商店街～志布志麓の観光動線整備

賑わい促進

- ・ベンチ、広場、カフェなどの設置
- ・子育て世代向け交流拠点整備
- ・店舗の誘致、生業(雇用)の創出

- ・歴史・自然・文化を活かした景観整備により、志布志の魅力を可視化
- ・「歩く楽しさ」を創出することで、観光回遊性を向上
- ・地元住民と観光客の交流によるまちの賑わいを創出し、地域経済を活性化

02 志布志商店街の現況(強みと課題)

① 強み

志布志東部地区

歴史と文化

薩摩武士の文化や山城跡、地形など麓地域の特性

交通拠点

歴史的に交通の要所であり、現在も国内外への航路がある

地理的立地

大隅半島への「玄関口」としての役割

志布志商店街

商店街に残る昼間の活気

市役所周辺に商店が集まり、生活動線にある

歴史的景観

歴史的風致のある建物や、昔ながらの狭い道に沿った街並みが残る

観光との連携

志布志麓(日本遺産)、駅、港に近く観光客やフェリー乗客の流入が見込める

② 課題

志布志東部地区

観光

不明確な訪問目的と訴求力の不足

宿泊

宿泊施設が少ない

娯楽

レジャー・エンタメ施設の不足

医療

特に小児科の医療機関が不足

志布志商店街

歩行者環境

高い自動車通行量と速度

照明

夜間の暗さが目立つ

駐車環境

駐車場不足と公設駐車場の認知不足

交通アクセス

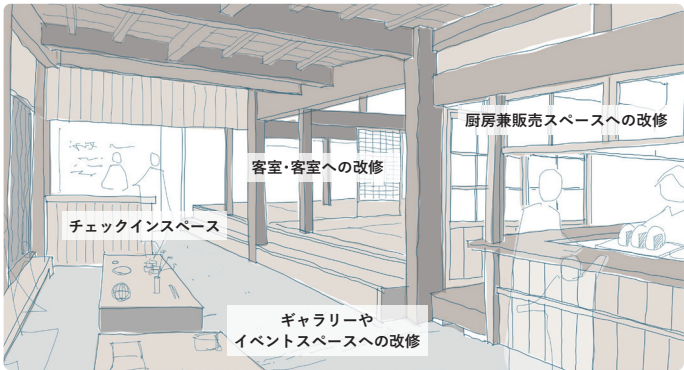
港、駅、商店街間の公共交通が不十分

景観・街並み

路面に面した駐車場で街並みが歯抜け状になっているなど景観に統一感がない

03 具体的な施策(一部抜粋)

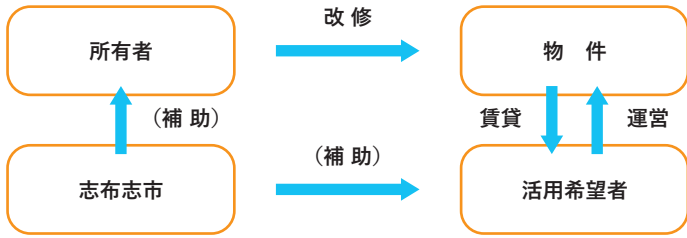
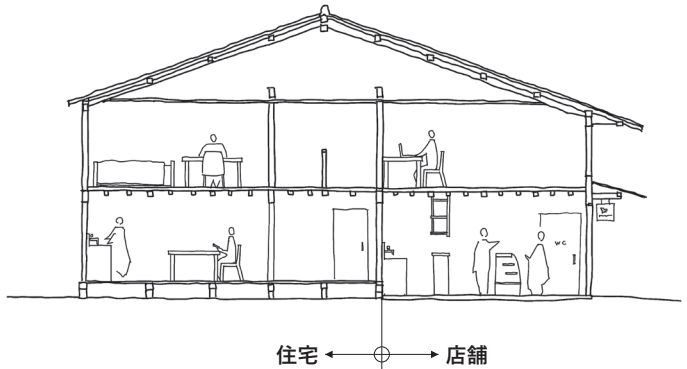
01 空き店舗や空き地の活用



・エリア内の象徴的な建物の活用

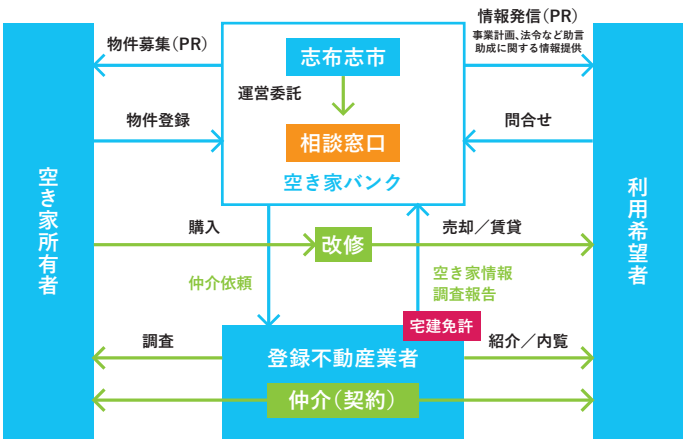
例)山中氏邸改修・活用イメージ

市の所有物件であり、現在は空き家となっている。今後活用する際は路面に面した建物1階部分については市内外の人が入りやすい店舗に改修、などが考えられる。



・補助制度の確立

商店街には店舗兼住宅が多いため、店舗と住宅の間に明確に区切りをつけ、店舗側にも水回りの設備を設置する。借りやすい、貸しやすい状況を作る補助制度設立の検討をする。

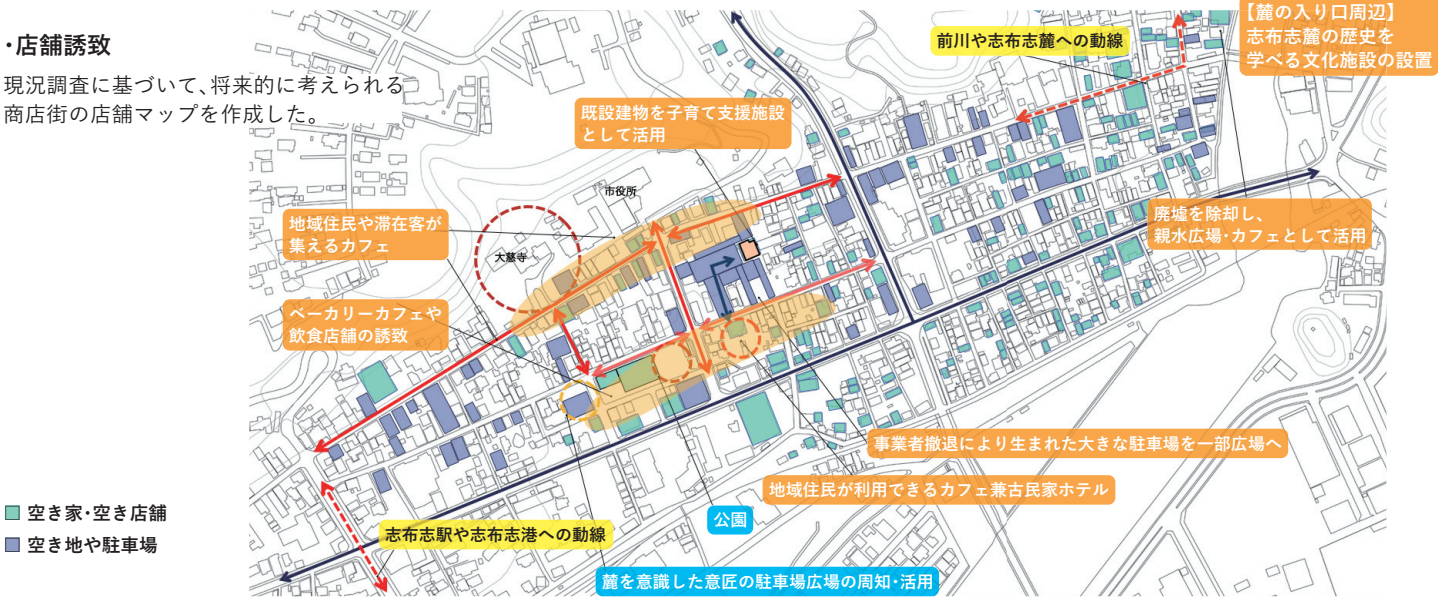


・空き家マッチング体制の整備

空き家バンク制度を活用しながら、志布志東部地区に特化した空き家マッチング体制の構築を行う。

・店舗誘致

現況調査に基づいて、将来的に考えられる商店街の店舗マップを作成した。



02 歩いて楽しい空間の向上 歩いて楽しい「将来景観計画」のイメージ

